

国土交通省独立行政法人評価委員会 鉄道建設・運輸施設整備支援機構分科会（第19回）議事要旨

1. 日 時
8月7日（木）13:00～15:40
2. 場 所
合同庁舎第3号館 国土交通省11階特別会議室
3. 出席者（五十音順、敬称略）
家田仁、石津寿恵、上田孝行、岡田勝也、角洋一、宮下國生
4. 議 事
1. 平成19年度業務実績評価及び第1期中期目標期間業務実績評価
2. 平成19年度財務諸表
5. 議事要旨
主な議事の概要は以下のとおり

〔議事1について〕

委員からの主な質問及び意見は以下のとおり

鉄道の技術開発について

- ・数々の受賞だけでなく、講習会の開催、学会での積極的な発表活動など日本の土木分野をリードする存在として重要な役割を担っており、高く評価できる。
- ・種々の主体をうまくとりまとめて効果的に技術開発の成果に結びつけたことは評価できる。
- ・鉄道ネットワークが概成していく中において技術力をどのように維持・活用するかが今後の重要課題である。

船舶技術支援の推進について

- ・省エネ効果2割改善という点は、原油価格高騰の折り、ニーズの高まりも見られることから、非常に面白い開発と評価できる。
- ・経済的支援である船舶使用料の軽減措置が5年間の暫定的措置とされている点で、将来的な問題を抱えている。初期コストをどうしていくかが重要である。

未収金の回収について

- ・多面的な方策を実施しており、立派な成果がでている。最初のうちは効果にもインパクトがあるが、次第に努力の割には効果が見えにくくなるものである。そのように考えると19年度の実績についてはそれなりに評価できる。

その他

- ・研究機関でもない機構が研究等で社会に貢献しており、鉄道の技術分野において、総合的な力をもつ機構の存在を高く評価できる。
- ・機構が将来的にも開発を継続できるような政策的仕組みの構築を期待する。

〔議題2について〕

委員からの主な質問及び意見は以下のとおり

- ・債務超過額についての今後の見込み如何。
- ・研究活動に対する支援について、その支援が会計上も正当に評価できるような方法がないかを専門家と相談しながらよく検討してほしい。

議題2については了承された。

以 上